

令和7年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	5	学 校 名	県立日立工業高等学校						課程	全日制		学校長名	稲 見 三千代				
教 頭 名	小 林 隆												事務長名	高 橋 芳 子			
教職員数	教諭	35	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	2	総務・情報・図書・保健	11	事務職員	3	技術職員等	2	計	59	
生 徒 数	小 学 科		1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合計クラス数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	機械・工業化学科		79	1	54	0	64	2			197	3	6				
	電 気 科		22	1	39	0	25	0			86	1	3				
	情報電子科		36	3	26	4	31	1			93	8	3				

2 目指す学校像

・工業技術の基礎・基本を重視するとともに、ものづくり等の体験的な学習や資格取得等を推進して、技術者としての感性と確かな力を育む学校 ・教職員が一致協力して、心身両面調和のとれた教育に努め、社会人としてのマナーや態度を身につけた健康的で人間性豊かな人財を育む学校 ・保護者や地域との連携・協力を努め、信頼と期待に応える開かれた学校
--

3 三つの方針（スクールポリシー）

「育成を目指す資質・能力に関する方針」 （グラデュエーション・ポリシー）	・工業技術の基礎・基本を重視するとともに、ものづくり等の体験的な学習や資格取得等を推進して、技術者としての感性と確かな力を育む人財 ・心身両面調和のとれた教育に努め、社会人としてのマナーや態度を身につけた健康的で人間性豊かな人財 ・保護者や地域との連携・協力を努め信頼と期待に応えられる人財
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 （カリキュラム・ポリシー）	・生徒一人一人の個性を生かし伸ばす学習指導を工夫し、学力の向上の実現 ・生活指導や特別活動を充実させ、社会人として必要なマナーや態度を身につけさせるとともに、豊かな人間性・社会性を育む指導の実現 ・生徒に将来の夢や希望を抱かせるとともに、生徒の多様なニーズに対応した進路指導の実現
「入学者の受入れに関する方針」 （アドミッション・ポリシー）	・主体的に学び、技術・技能の基礎となる知識を身につけようとする意欲のある生徒 ・目的達成のために、他者を尊重しつつ対話による深い学びと協働する姿勢のある生徒 ・社会生活を営む上で必要不可欠な健康の増進および体力の向上を目指し日々努力する生徒

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学 習 指 導	中学校までに学んだ内容が定着していない生徒や、学習に対する興味関心が低い生徒がおり、基礎学力不足により成績不振に陥る生徒が見受けられる。	基礎基本の定着を如何に図るか、興味関心をどう引き出すか、家庭学習も含め学習習慣をどのように付けるか。
進 路 指 導	概ね就職が7割、進学が3割であり、就職内定率は100%である。進学については学校推薦型選抜が中心であるが、専門高校推薦や総合型選抜で国公立大学を目指す生徒もいる。	就職については必要な基礎学力を身につけさせ、進学については早い時期から強い意識を持たせ、希望に沿った学習指導を行い、学力を育てていくことが必要とされる。
生 徒 支 援	基本的生活習慣や公共マナー等規範意識が十分身につけていない生徒が若干見られる。近年はスマートフォン等を介した情報交換によるトラブルが見受けられる。	立哨指導や容姿指導等の機会をとおして規律ある生活態度や規範意識を育て、スマートフォン等の適切な使用法やトラブル回避能力を身につけさせること。

特 別 活 動	部活動の成果が出てきている一方、HR活動、生徒会活動、学校行事等への取り組みがやや低調である。	部活動加入率の増加とさらなる活性化。 計画的なHR活動の実施、生徒会活動や学校行事等への生徒の自主的・積極的な参加の推進。 キャリア教育に関わる活動について、学びのプロセスを記述し振り返ることができる教材の作成。
働 き 方 改 革	生徒や保護者への対応が多くなっている一方で、事務処理等の仕事が増加傾向にあり、超過勤務になっている。	書類作成等の事務処理や各会議等の効率化。

5 中期的目標

1 生徒の個別最適な学びと協働的な学びの効果的な実現を図るとともに主体的な学びを推進し、学力の向上を図る。 2 生活指導や特別活動を充実させ、社会人として必要なマナーや態度を身につけさせるとともに、自立した責任ある社会の一員として自覚を促す指導に努める。 3 生徒に将来の夢や希望を抱かせるとともに、生徒の多様なニーズに対応したキャリア教育の充実を図る。 4 学校の活性化を図り、本校の特色ある教育活動を一層推進し、地域からの信頼と期待に応えるよう学校の活性化を図る。 5 本校の特色や魅力を、中学生やその保護者、地域の人たちに理解されるよう積極的な情報発信に取り組む。 6 学校行事の精選や業務の効率化を進め超過勤務時間の削減に努める。
--

6 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
学力の向上	① 授業研究等を通して、分かる授業・主体的に取り組む授業の実践に取り組む。 ② 基礎学力定着のための指導に取り組む。 ③ 個別最適な学びと協働的な学びの実践に取り組む。
豊かな人間性・社会性の育成	④ 1学年・2学年の道德教育に計画的に取り組む。 ⑤ 3S（整理・整頓・清掃）運動を展開し、生活・学習環境の改善に努める。 ⑥ 基本的生活習慣の定着と規範意識の高揚、公共マナーの向上を図りながら、自立した責任ある社会の一員としての自覚を促す指導に努める。
進路指導の充実	⑦ 生徒に夢や希望を抱かせる指導を工夫する。 ⑧ キャリア教育に努め、勤労観・職業観を育成し、進路未定で卒業する生徒をなくす。 ⑨ 進学希望者の希望実現及び国公立大学等への進学実現に向けて取り組む。
本校教育の特色化	⑩ インターンシップ・デュアルシステムの一層の充実を図る。 ⑪ 部活動等の活性化に努め、協働的な活動のできる人材を育成する。 ⑫ ジュニアマイスター顕彰制度を活用するなど資格取得の推進を図る。
積極的な情報の発信	⑬ ホームページの適時・適切な更新に努め、工業高校の魅力を発信する。 ⑭ 生徒の活動を中心としたスクールガイド等を作成し、広報活動に活用する。 ⑮ 授業公開・中学生体験学習・中学校への説明会等での広報活動に努める。
働き方改革の推進	⑯ 時間外勤務時間の削減に取り組み、学校行事の精選や業務の見直しを行う。
授業改善	⑰ 生徒による授業評価において授業満足度（K P I）2.5以上を目指す。